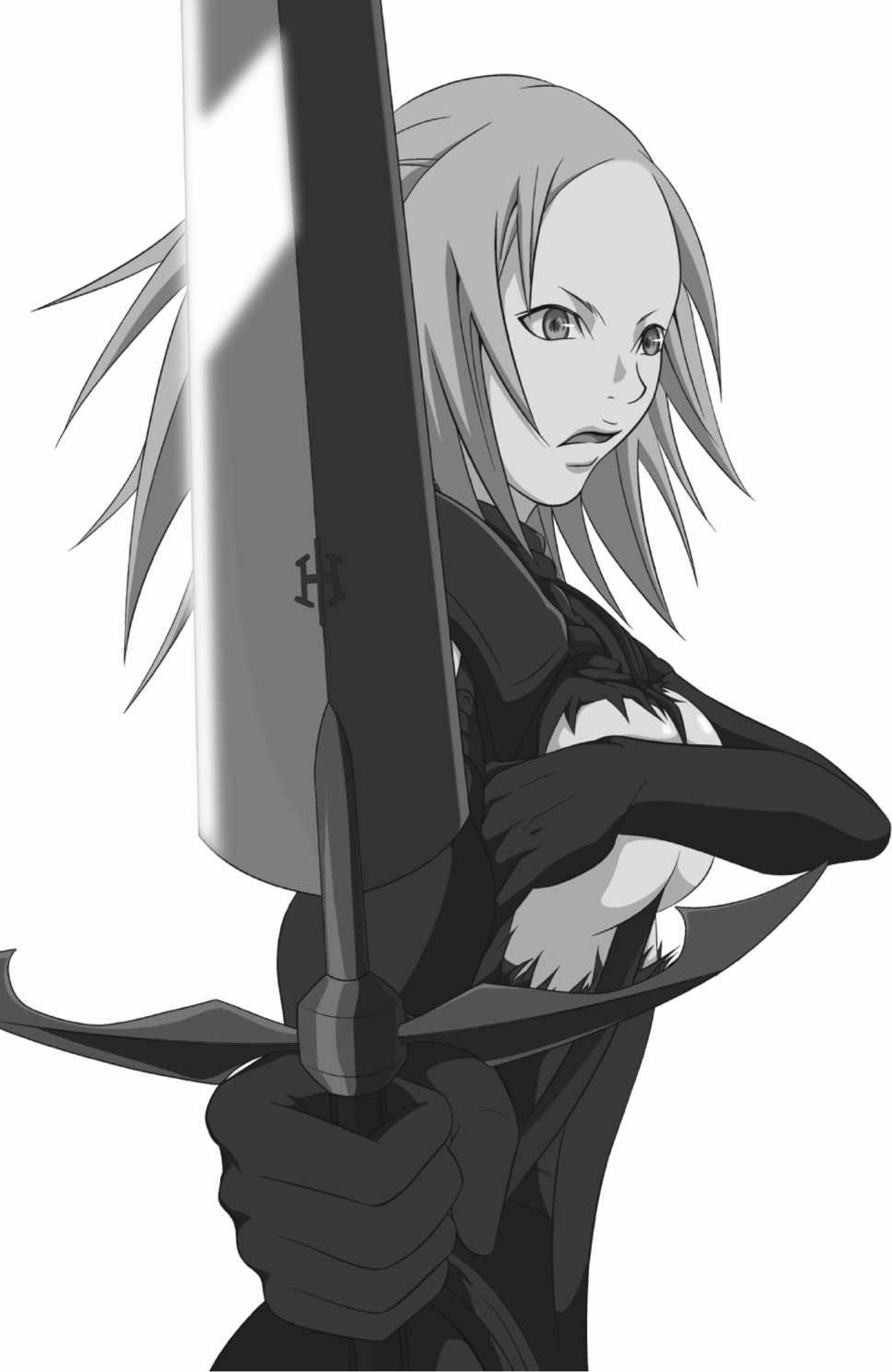


D'EVO

嵌められた幻影

成人向
Adult Only

木神 毒蜂



聖都ラボナで
鮮血のアガサを
討伐した数日後の
ある日……

私は人間の欲深さを
思い知った



ヴインセント
司祭

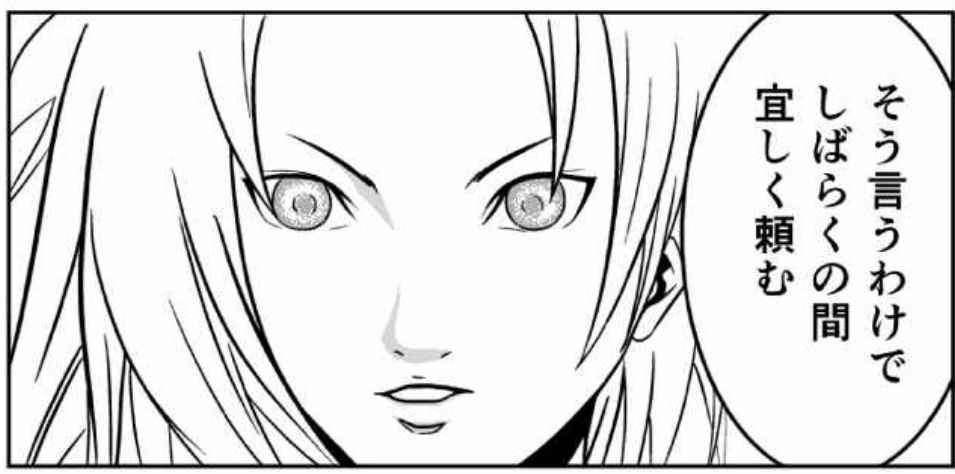


仲間と話し合った
結果……
私ともう一人は
時が来るまで
この街で待たせて
もらい

他の者はそれぞれの
目的の為に一度
この街を離れる事
になった



見つけた！



そう言うわけで
しばらくの間
宜しく頼む




感謝する




そうですか：
我々としては
ご自由に居て貰って
構いません




黒い服の美女戦士
発見したぜ♥



お前
本気かよ!




昨日街を襲ってきた
あの化物を倒した
女の一人だぞ




それと兵士の
会話を立ち聞き
して得た
情報だけど…


あの女戦士は
みんなクレイモア
だって話だぜ



なら尚更だ
俺は元々
クレイモアと
ヤッてみたかった
んだよ



あ：いい事を
思い付いちやった♥

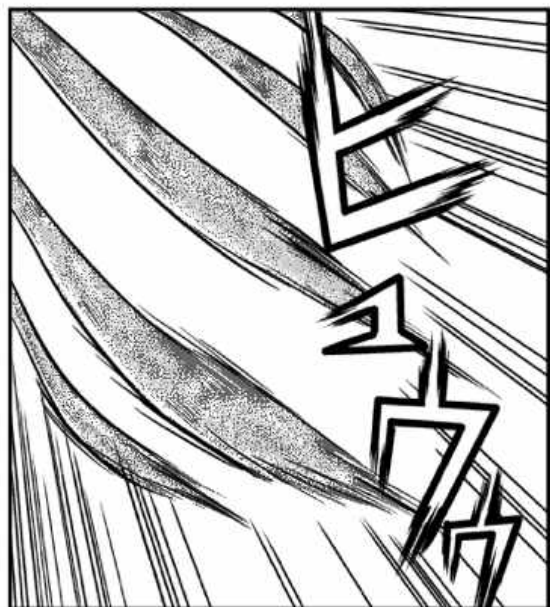
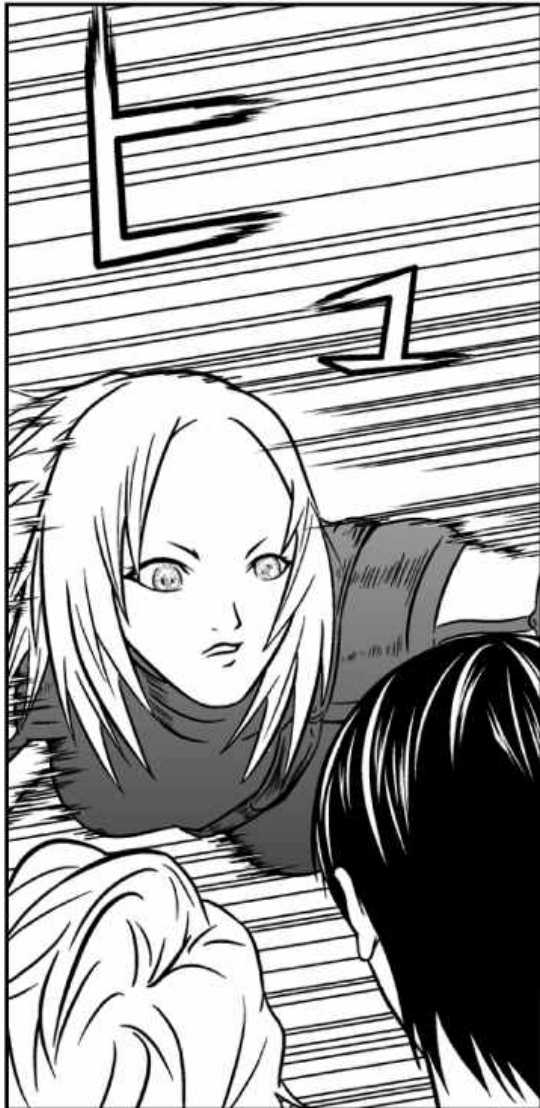


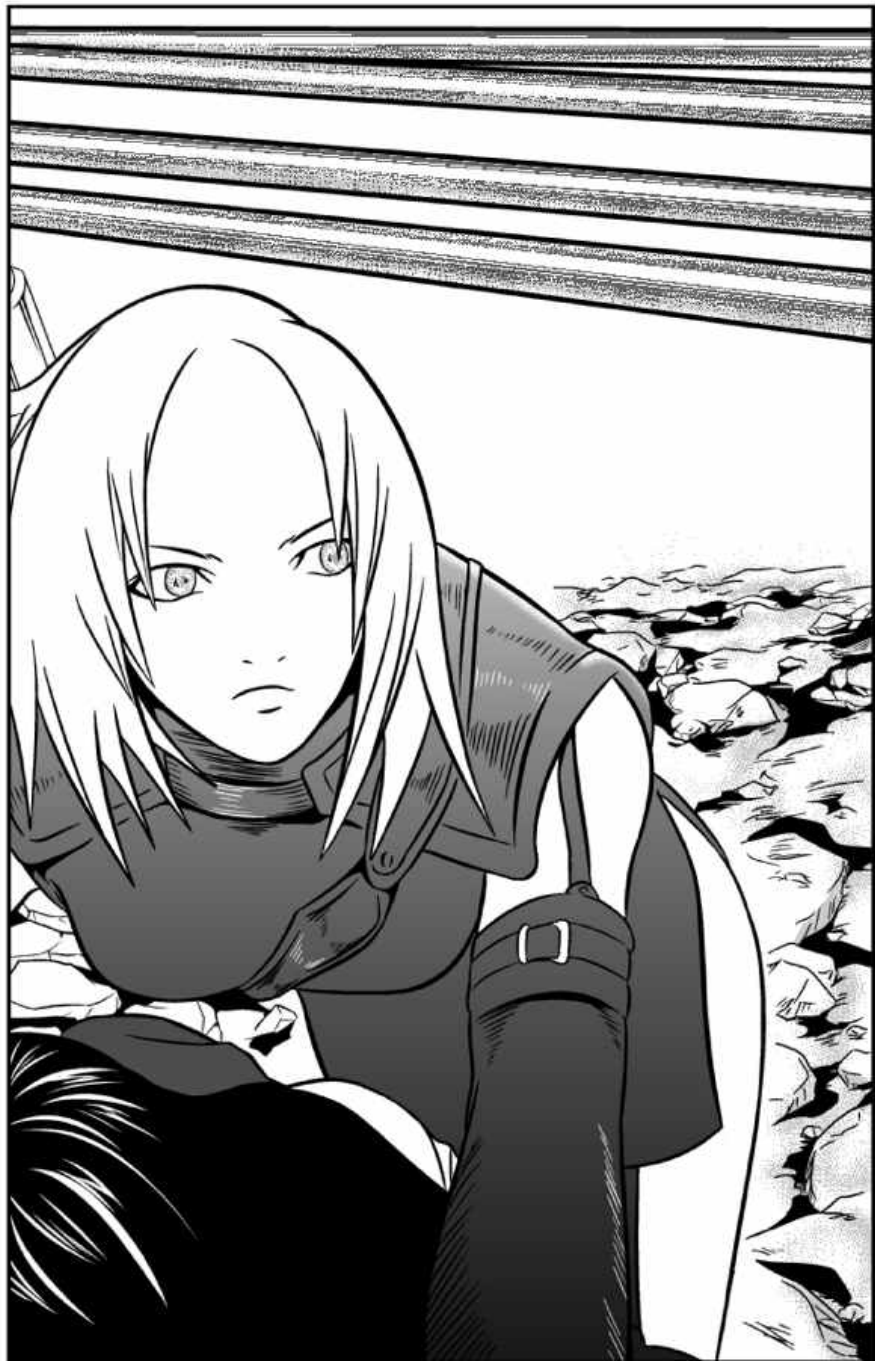
お前正気かよ
盲目のシスターに
相手にされないから
やけになってるん
じゃねーのか!?

やけになってねえよ
バーカ

数日後



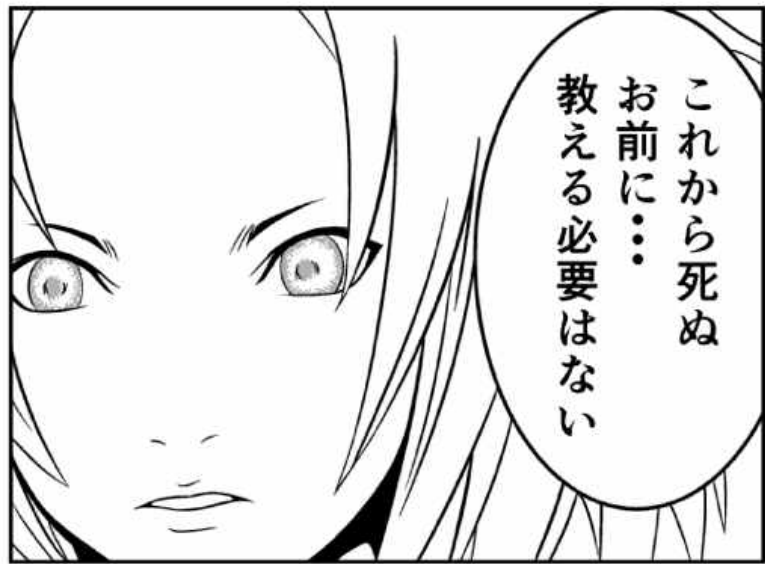








まあ何だって
いいか……
とにかく俺を
殺しに来たんで
あれば――



これから死ぬ
お前に……
教える必要はない



貴様らを
始末する
だけだ!!





くっ
その大剣…
やはり
クレイモアか!



私が食い止めて
いる間に二人は
街へ逃げるんだ



冗談じゃない
せつかく後少しの
ところだったのに
…
このまま何もなく
終わってたまるか
こらなったら



は、はい
わかりました

うわあああああつ
妖魔に殺される
うううううつ!!!

!?

あ、
あいつ…

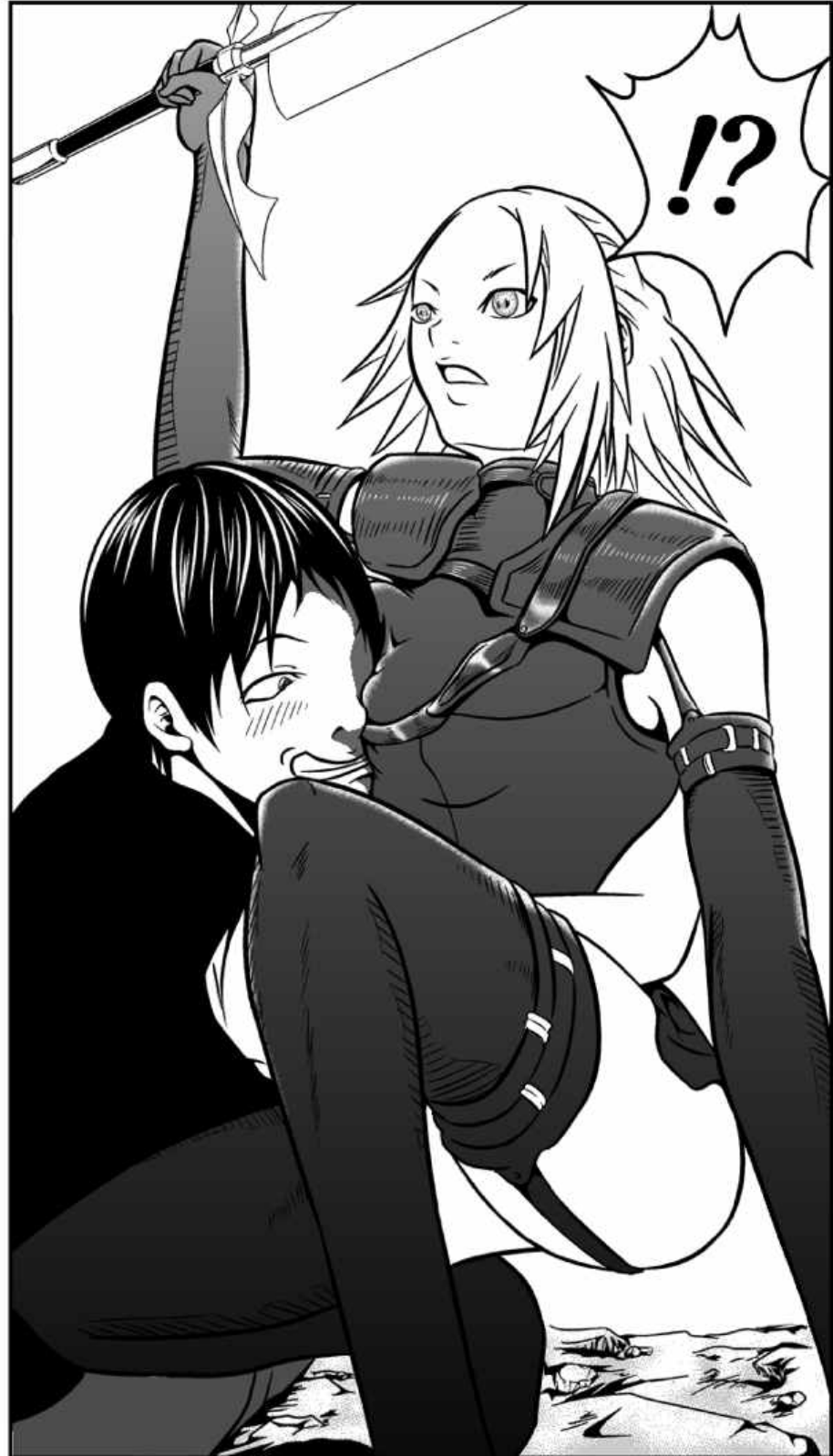
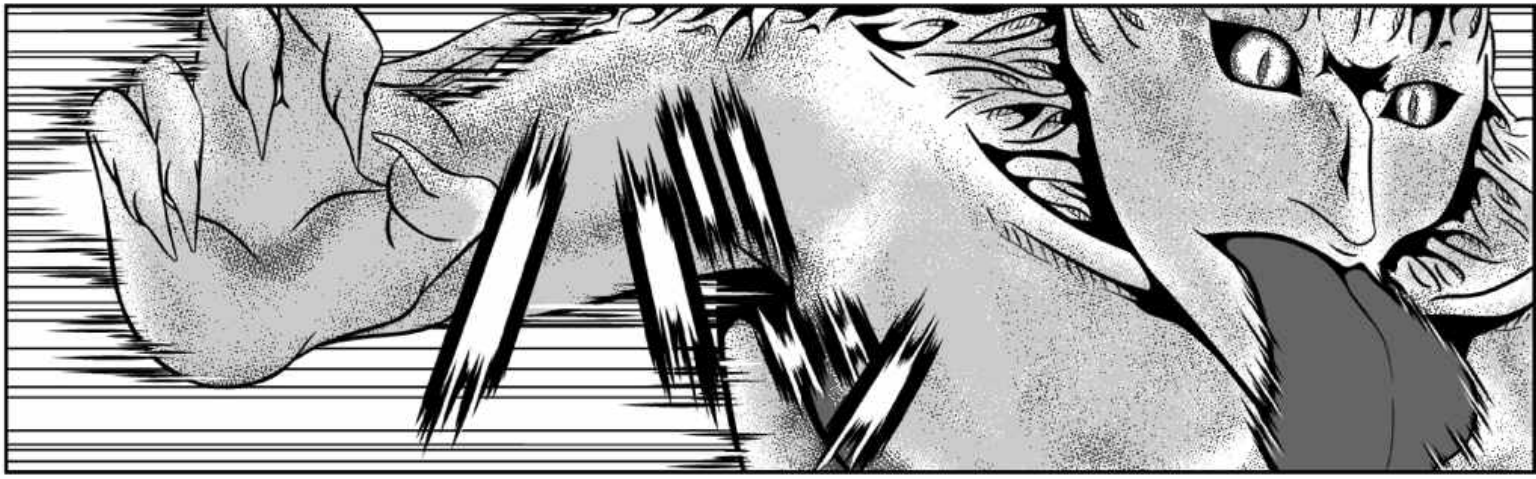
もう駄目だああ
あああつ!!

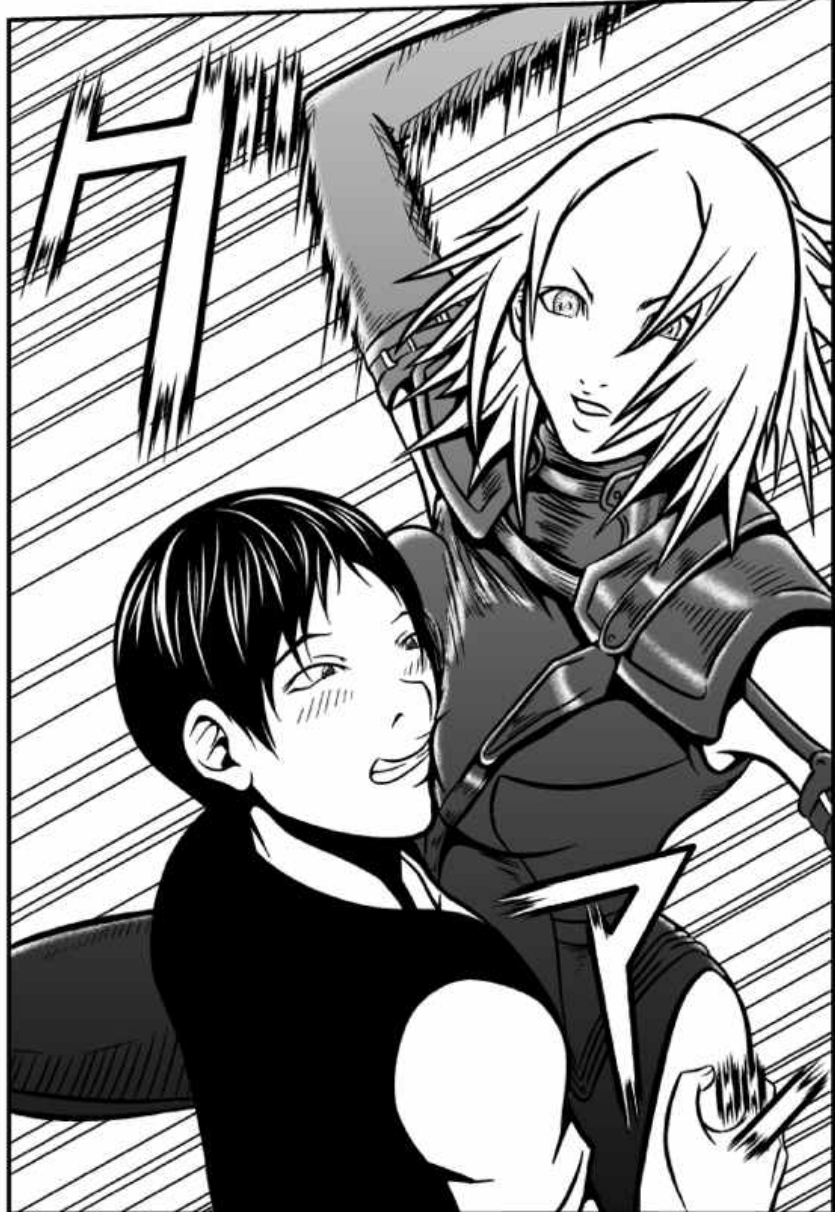
どうなりやあ
パニックを装って
触れるだけ
触つてやる♡

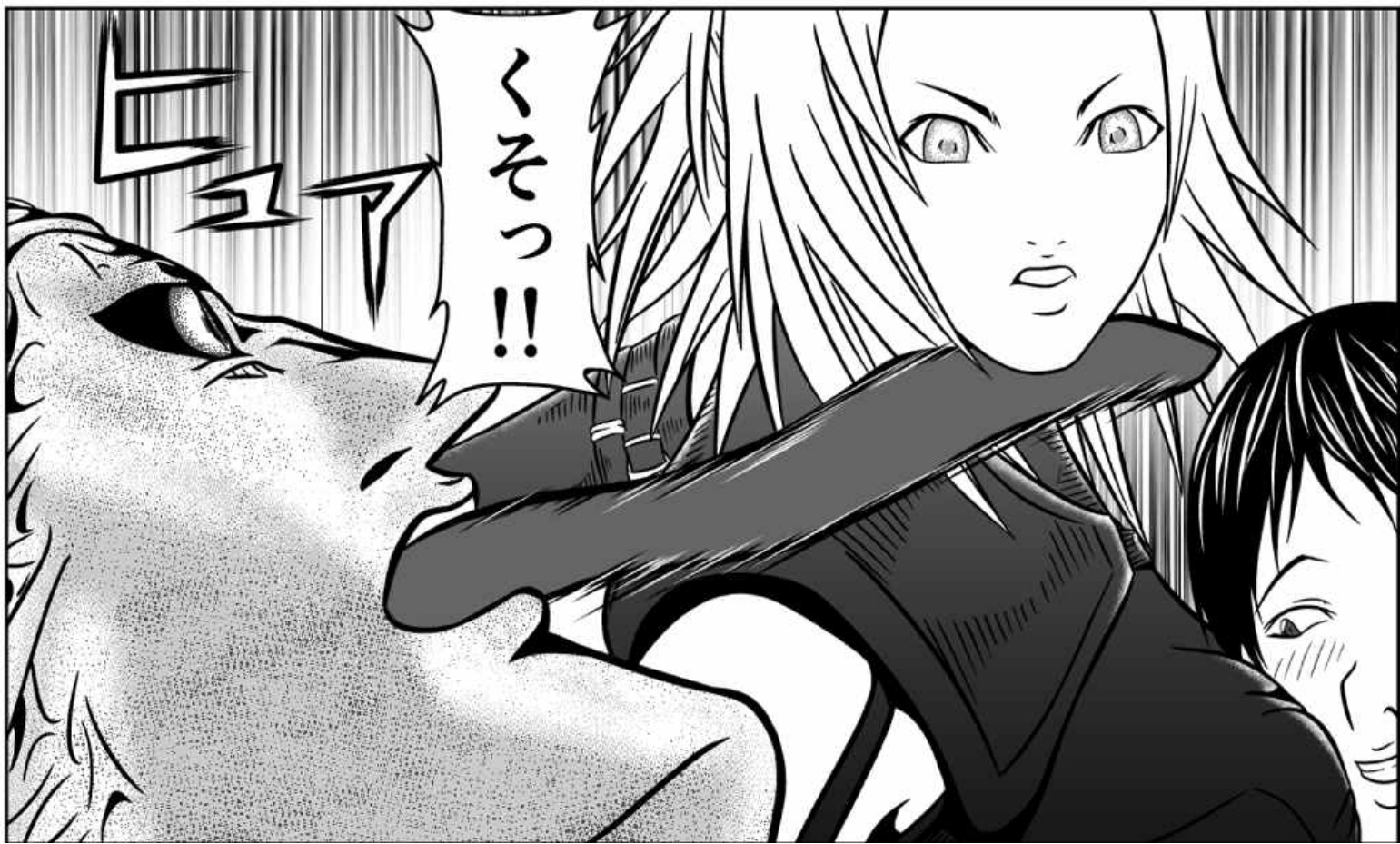
落ち着け!

むんゆ

むんゆ









思い出した…

かつて俺の仲間が
組織の戦士にやられ
その中で何とか
生き延びた内の
一人の話では

その戦士は目に映るは
幻の如く速かったと
言っていた…

こいつが
その戦士か!!



モミ
モミ

もしそうだとしたら
俺のスピードでは攻撃を
当てるのは無理だ…

このまま
まともに戦っていたら
確実に殺られる!

こうなったら
一か八か

奴の強さはだいたい
わかった…
おそらく次で倒せる

だから安心して私から
少し離れてろ!
いつまでもこうして
しがみつかれたまま
では戦い難い

あ…
え…と

駄目だ
俺は恐くて
動けない！



ふふふ…
少しでも動いたら
こいつを八つ裂きにするぞ



いくらお前が
疾くても…
この距離なら
十分こいつの
首をかき切れる

うっ…
うう

私がいるから
大丈夫だ！

でも
無理だ！！

それなら
そのまま
動くな！

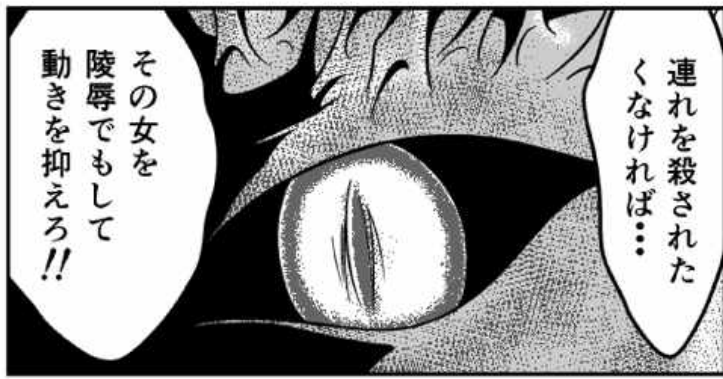
!?

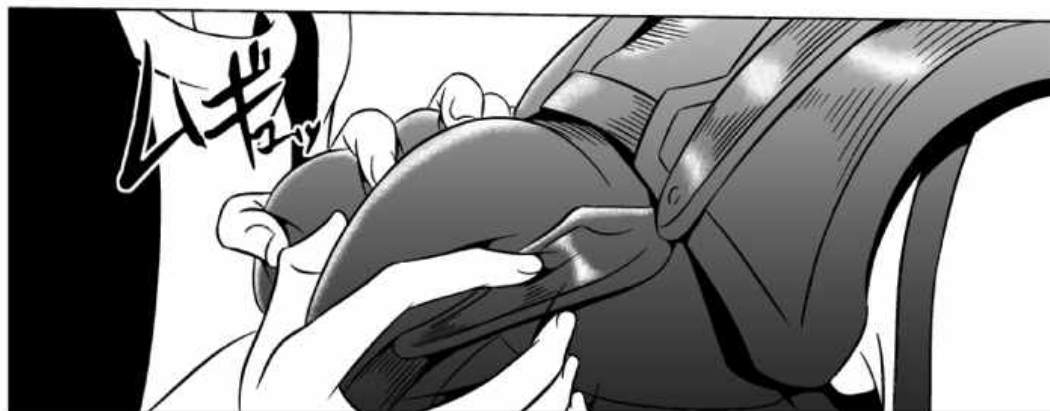


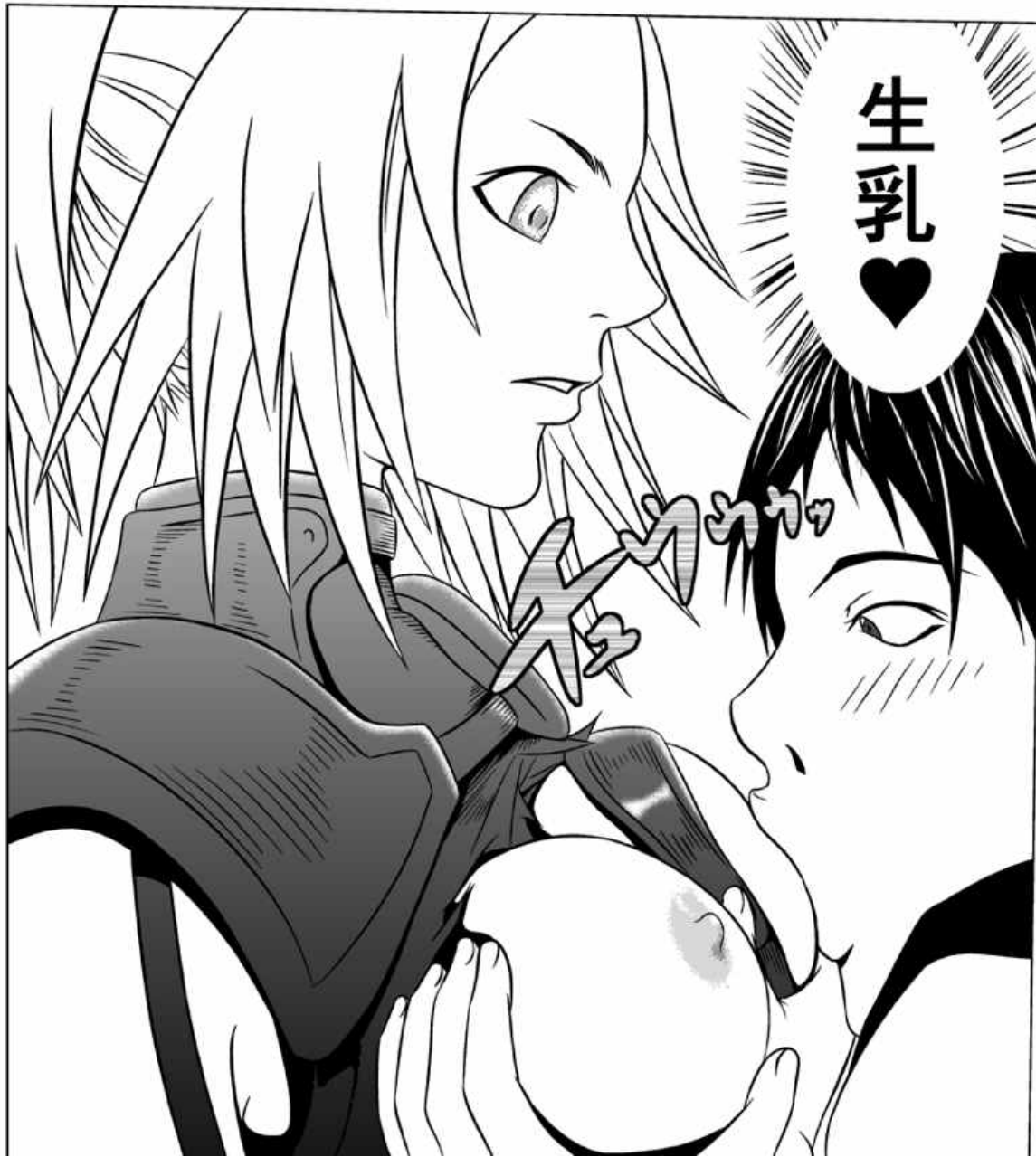
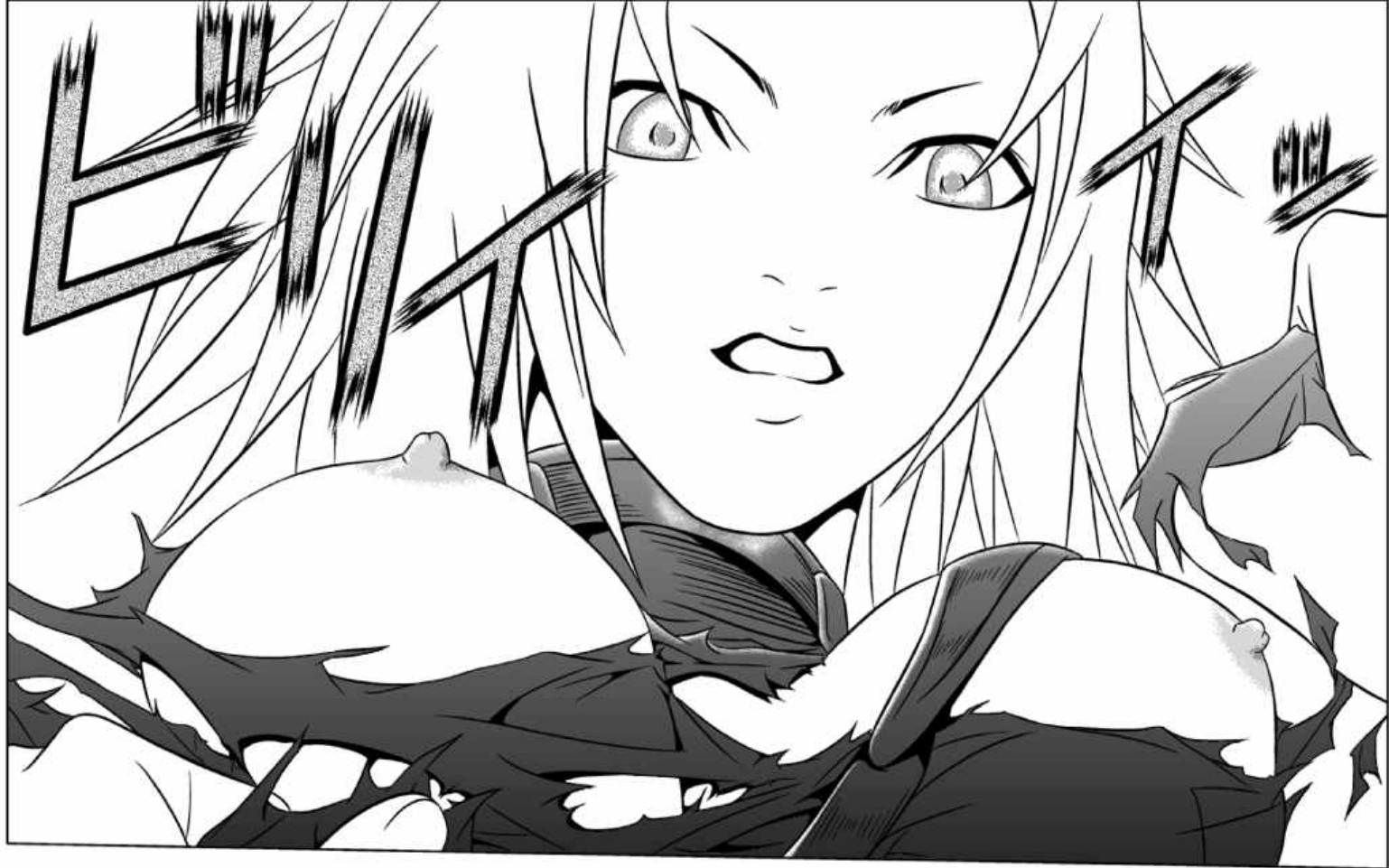
ふふ…
ただ人質に
しただけじゃ
通じると
思っていないさ

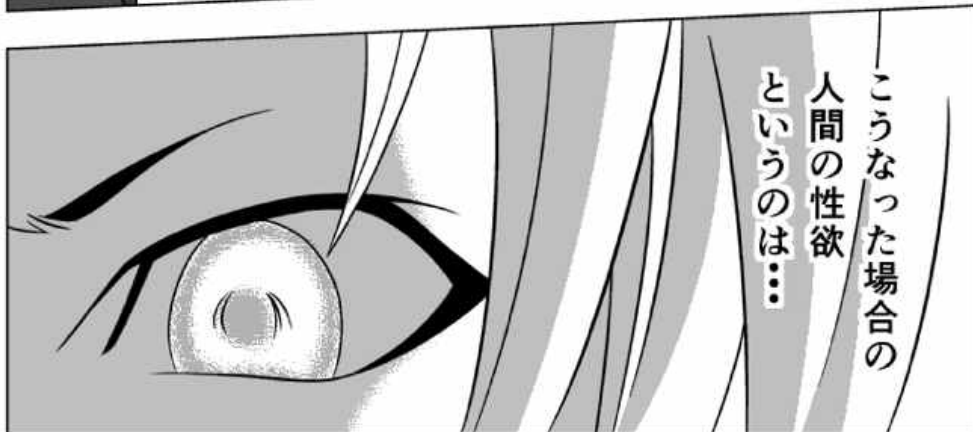
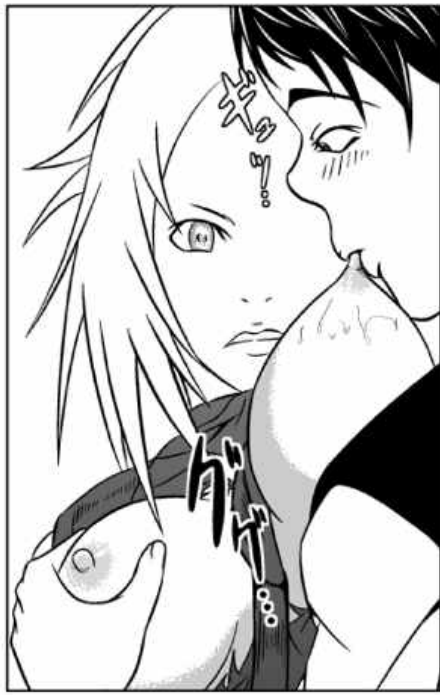
私に人質が
通じると
思っているのか？





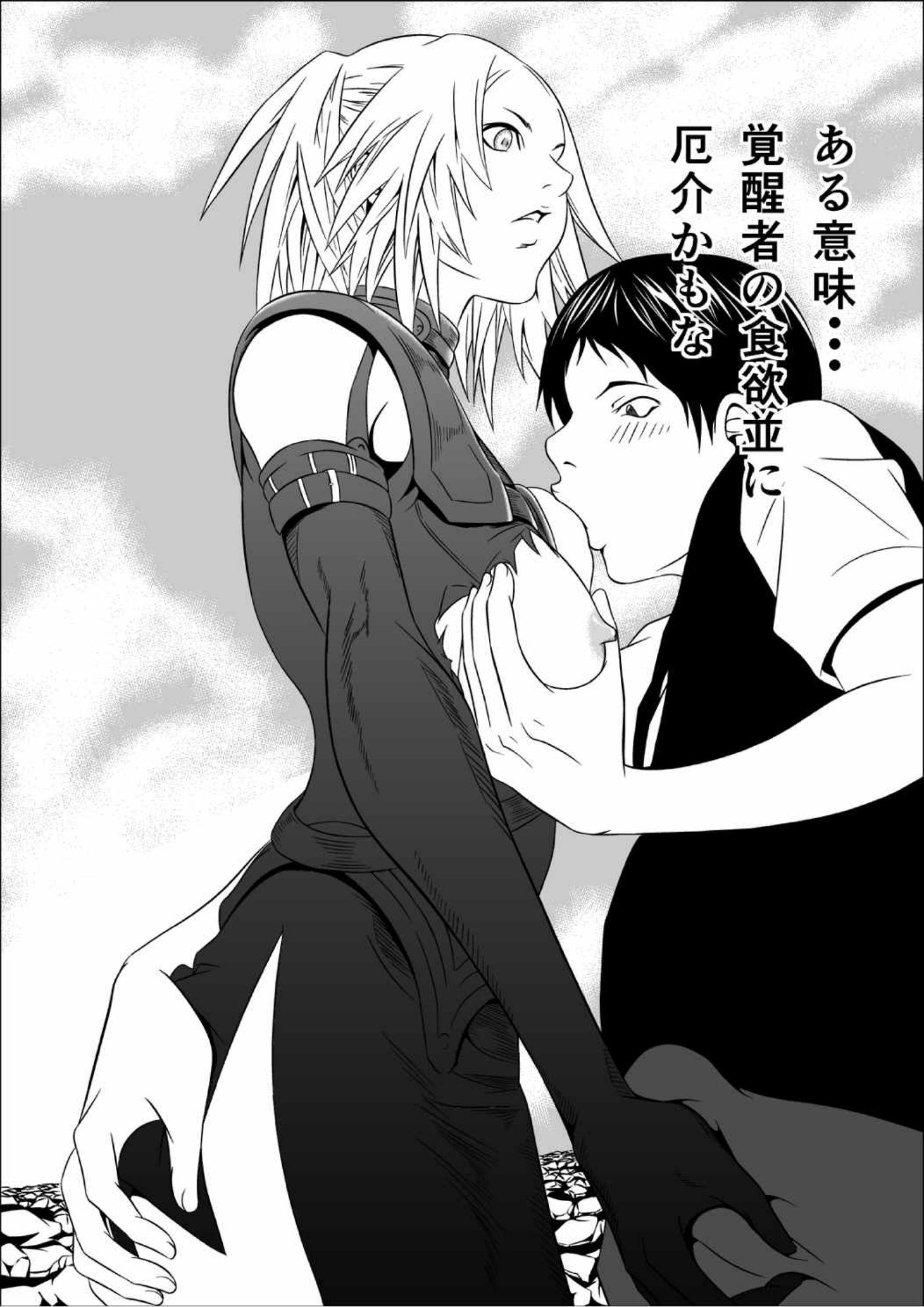






ある意味……

覚醒者の食欲並に
厄介かもな





おそらく
奴は……

陵辱されてる私が
理性を失い隙ができた
ところを狙って攻撃
を仕掛けてくるだろう



そのまま
続けながら
聞いてくれ



だから私は
攻撃をしてくる
瞬間を狙って
奴を切り刻む

人質に危害を
加えさせず奴を
仕留めるには
そのタイミング
しかない



ふふふ……

ならそれまで
たっぷり
楽しんでやる

そ、それじゃあ
……



わ、
わかりました

私が合図をしたら
手を緩めて欲しい



その時が来るまでは
私の身体をどう好きに
しても構わないし
どんな性的要求にも
応じるつもりだが……







んんううっ
…
ん~~~~ッ!!
ぐぐっ…
ぐらッ!!

んッ… んむ…
んぐっ んうっ…

イッ… くうううううっ
ううっ!!!



まったく…



ぐはあっ!!



無断で口の中に
射精してくる
とは…

フキ
フキ

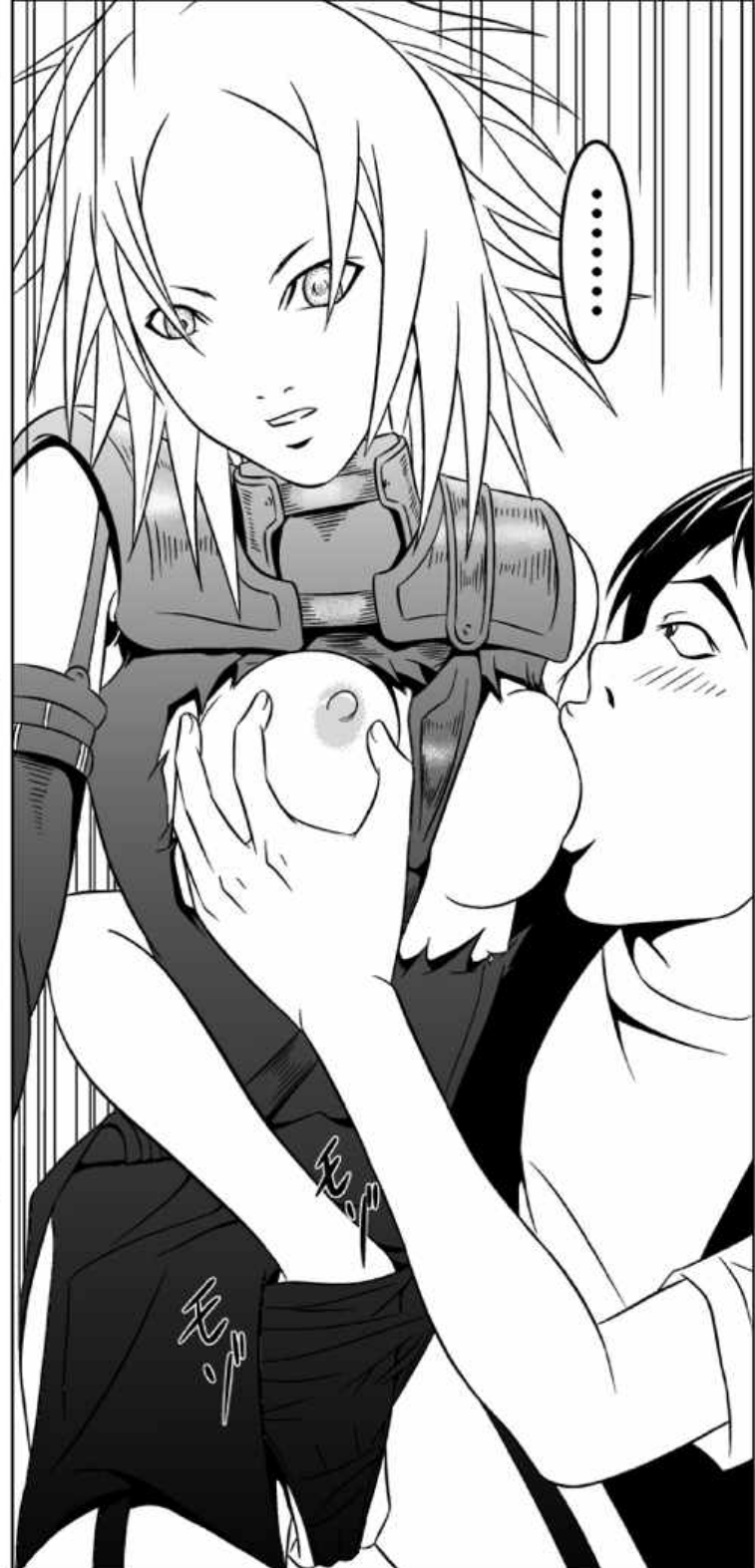
?!





あッ...

ああああっ
ああんツツ!!



.....



迂闊だった...

本来であれば
我々半人半妖は
自らの意思で
アルコールや
毒素などを
身体から弾いたり
性的刺激も
本人の意識だけで
制御する事ができる



性的刺激を上手く
制御できない.....

それどころか



しかし今は.....
どのタイミングでも
幻影で覚醒者を
仕留められるよう
奴に気づかれぬ
程度の妖力開放で
常に集中している為に

通常よりも
感度が増して……
体が異常に
敏感になってる



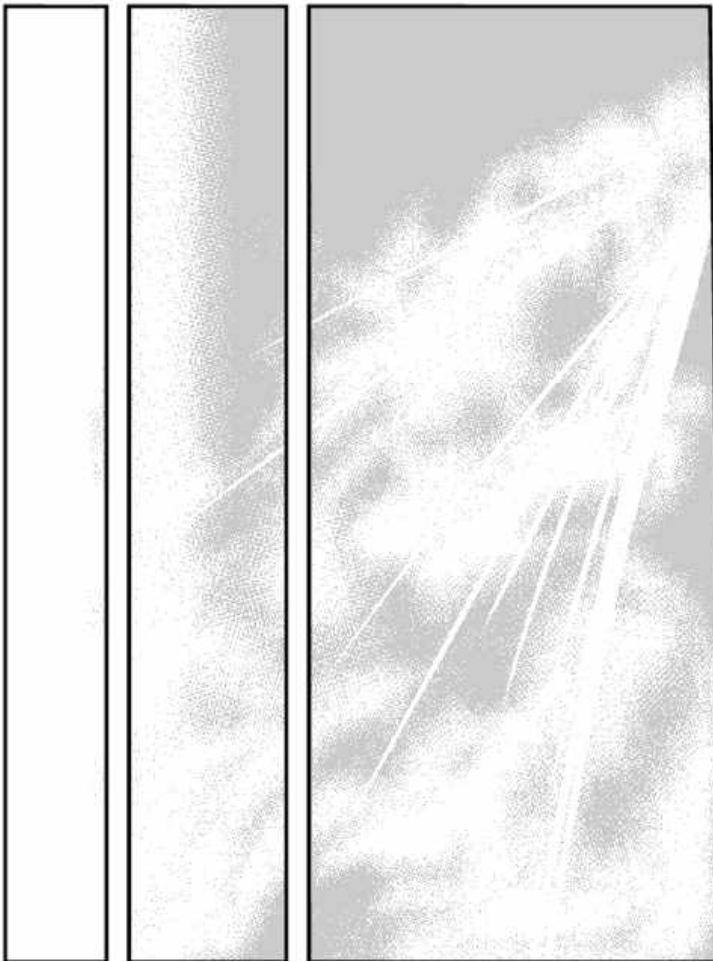
くっ……
頃合を見て
性的快楽に理性を
失ったふりをし
あえて隙を作って
覚醒者の攻撃を
誘おうと思った
のだが……

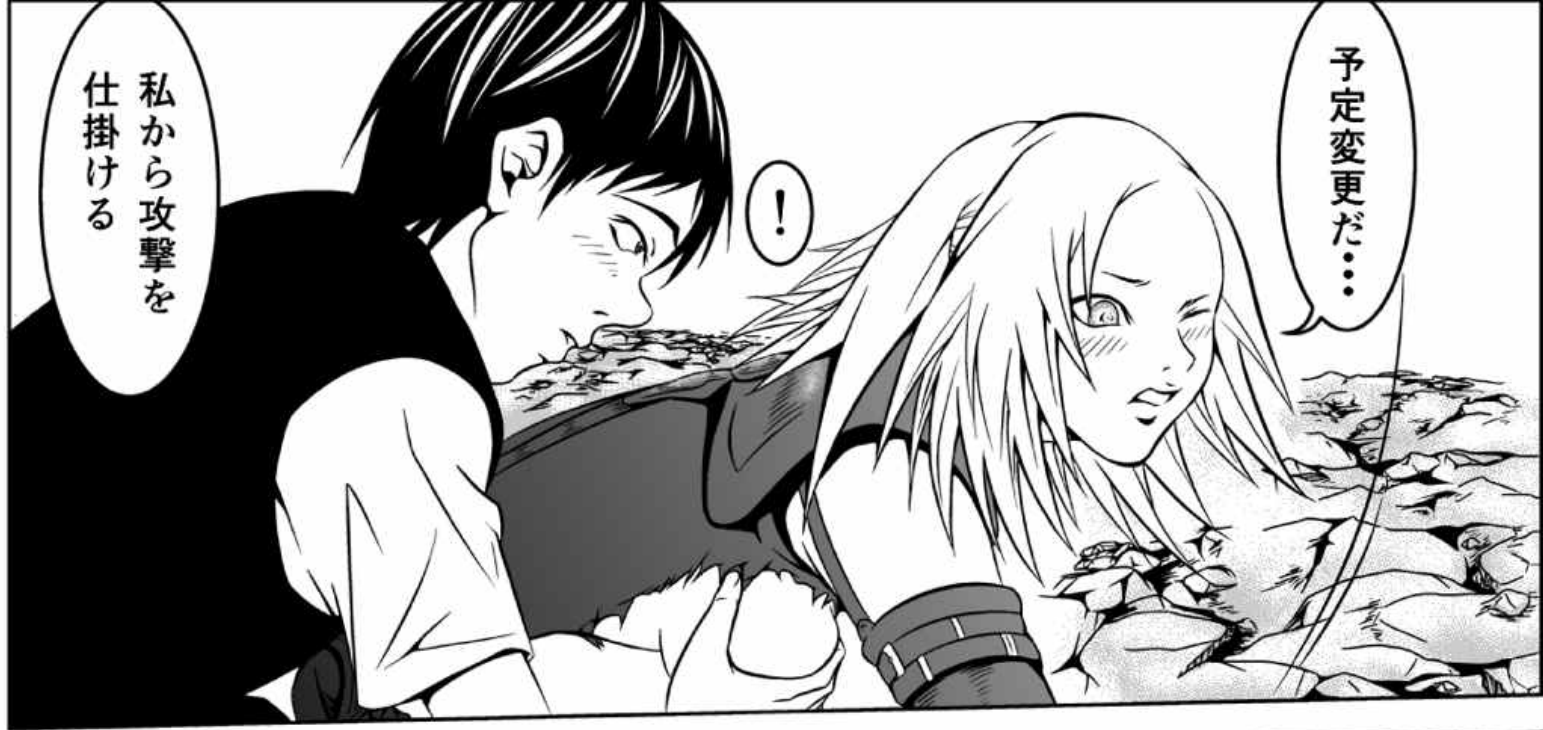


そんな演技を
する余裕などない



妖力開放の状態
で
受ける性的刺激が
まさかこれ程とは
……





予定変更だ…

!

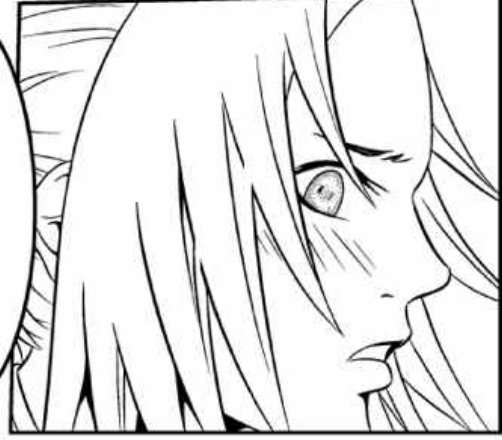
私から攻撃を
仕掛ける



こんな中途半端な
ところで…



だから一旦
手を止めてくれ



手を止めるわけ
ねーだる!!!

ああああっっ
ああん



なっ…!?



くっ…
もうこの男に
理性なんて
ない

は…あつ
あん

ああつ…
はあん



それでも
どうにか
しなければ…

ううっ…
あつ



人間の男の
性欲というのは
本当に厄介だな



んっ…
ぐ…

キキキ





ああああ
ああっっ…



普段は無表情で
冷徹なクレイモアが

こんなにいやらしく
喘ぎ悶えるなんて
意外だったぜ



はっあん!!



はぁん

ふふふ…
クレイモアも
所詮は女だな
こうなつちまえば
可愛いもんだ



あぁっ…

妖魔と日々戦っている
銀眼の殺戮者といえど
俺のち○こには
敵わないって事か

く…うっ



ふふふ…



そろそろ：
八つ裂き
してやるか



思っていたより
人間の男が積極的に
陵辱してくれる
おかげで：
あのクレイモアも
いい具合に
イキかけてるな



.....



そろそろ攻撃を
仕掛けてくるつもりか

それなら私も
攻撃に備えて
今よりさらに
妖力を開放し

あああんっ
ああっ!!



！
覚醒者の妖気が
どんどん高まってる

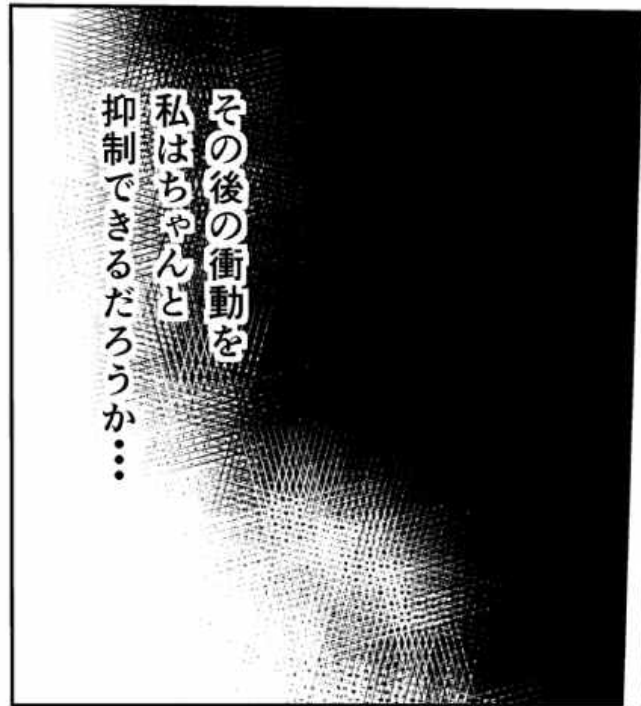


はあっ

うう…

くっ…
当然だが

妖気を上昇させれば
そのぶん性的快感も
さらに増してくる



その後の衝動を
私はちゃんと
抑制できるだろうか…



もうすでに
この激しい性的快感
に耐え続けている
身体の状態で…
瞬間的とはいえ
幻影に必要な妖気まで
妖力開放をさせた場合

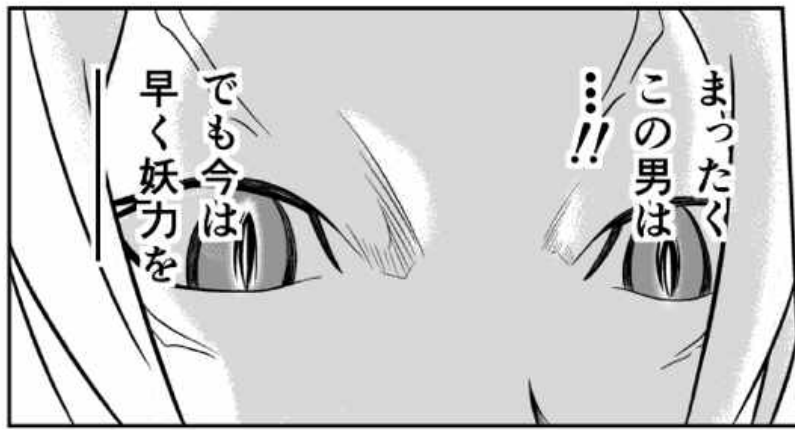


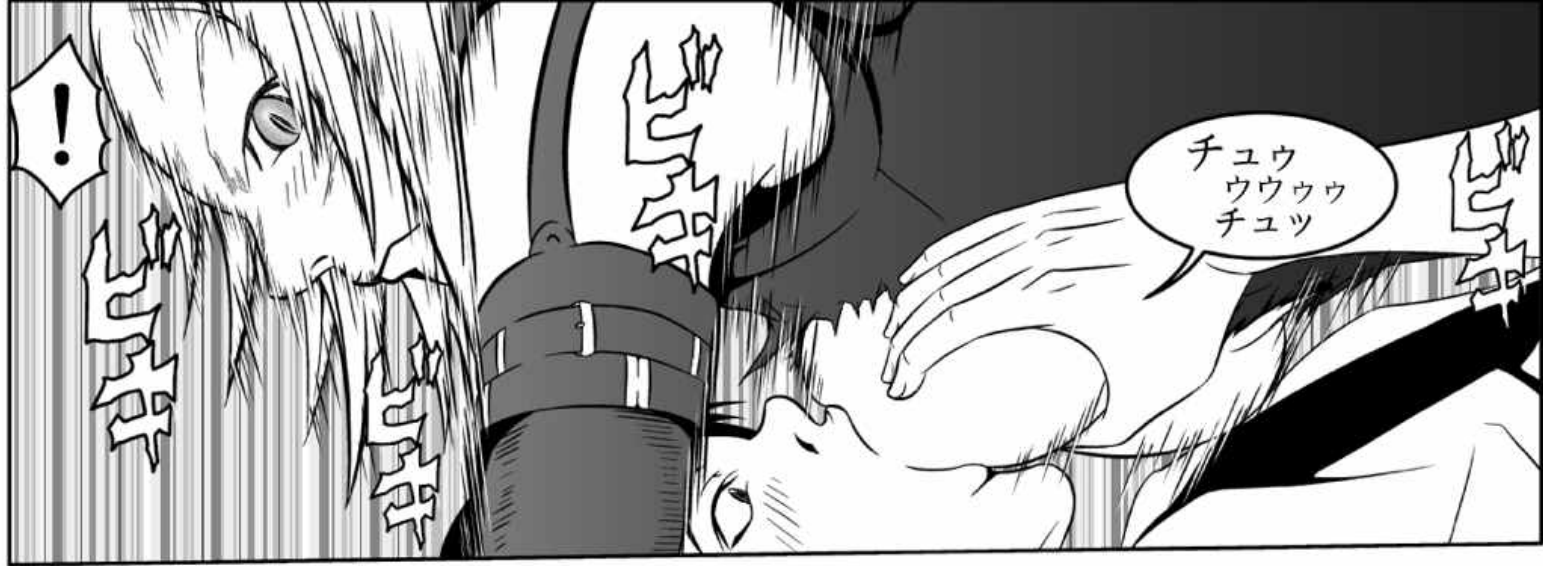
ふふふ…
今度こそ確実に
切り刻んでやる
!!







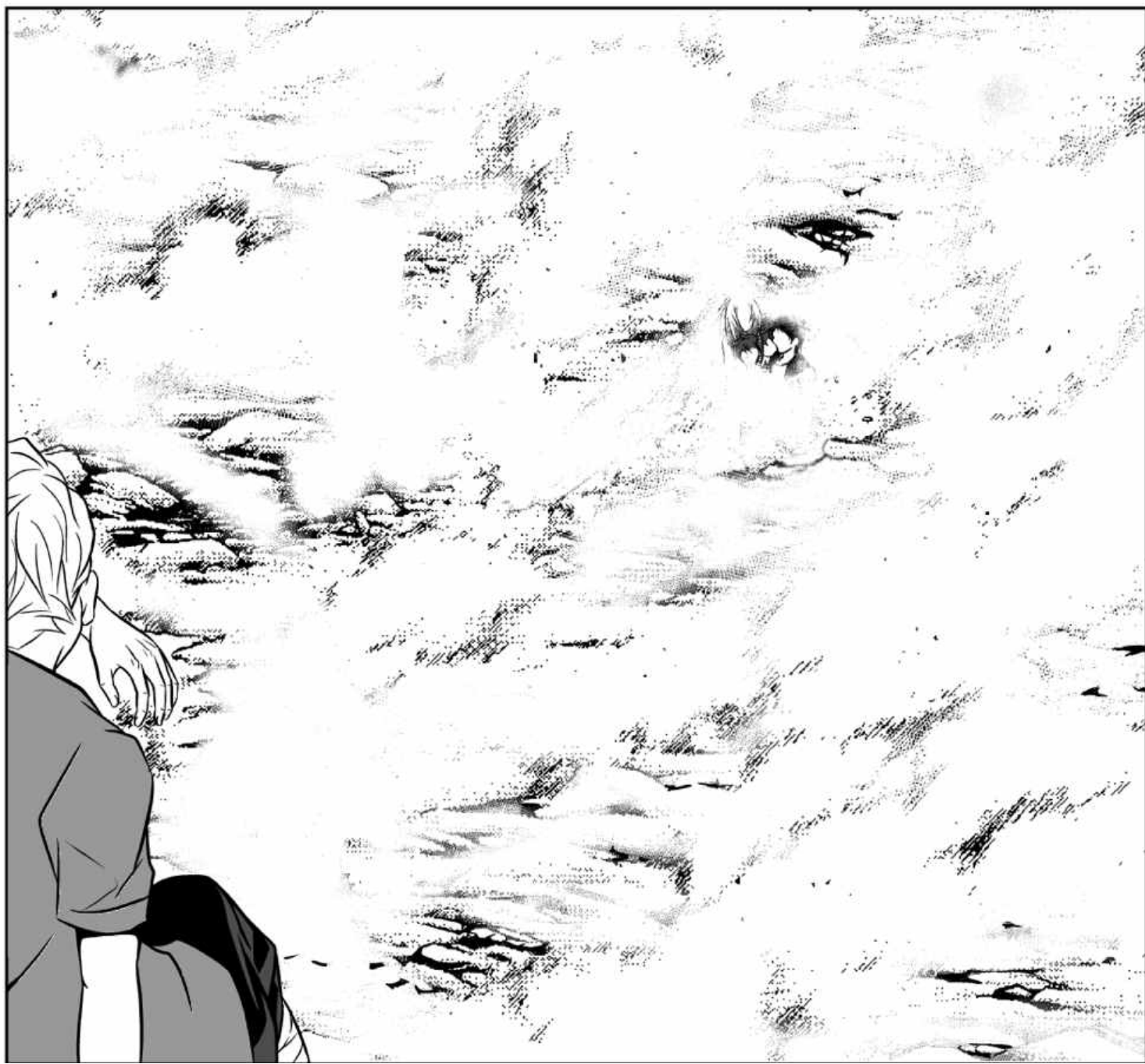
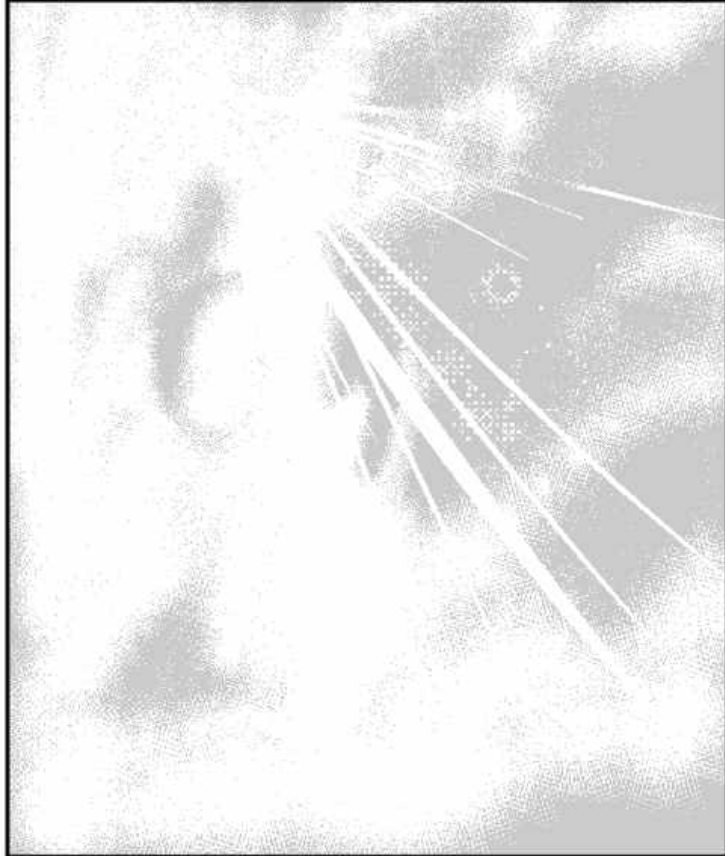




これ以上の
体への刺激は
まずい……


ただでさえ：
すでに受けた
性的快感と
妖力開放による
衝動を同時に
抑えなければ
ならないのに








ちよっと運ぶの
手伝ってくれ！



何が起こったのか
よくわからねえが
…
どうやら気を失った
みたいだ

LO
LO



予定していた
場所に移して
第2ラウンドを
開始しようぜ

to be continued...

あとがき

この度は『CeO 嵌められた幻影』をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
今作がはじめて描いたものなので、完全なる初めましてですね。

今回は闘いの最中でのエロをテーマに描いてみたいと漠然と妄想をしていたわけですが、多くの女性キャラを中心に闘う作品がネタとして妄想しやすかったのでクレイモアで作ってみました。
アニメの方の2期を期待するという事で、なぜ今クレイモア？って思わないでくださいね。

闘いとエロをバランスよく描き上げようとした結果、ストーリーの展開や落としどころが中途半端になってしまいました。
次回があればもっとエロシーン盛り沢山に描ければなと思います。

でわでわ、次回作にまた会えることを祈って…

木神 毒蜂